
7人反乱軍戦記

光王

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

7人反乱軍戦記

【Nコード】

N8957D

【作者名】

光王

【あらすじ】

西暦2027年宇宙から月使団と名乗る軍隊が攻めてきた。それに対抗するのは総帥高坂星と6人の仲間たち。7人反乱軍ここに参上!!!

プロローグ(前書き)

短いです。プロローグ

プロローグ

それは突然起きた。
何の前触れもなく。

ドガァン

「にげなきや、早く」

「兄さん早く」

「手をあげる、床に伏せろ」

「お前だけでも逃げろ!!」

「でも・・・」

「いけ!!」

ドン!!

「兄さん!!ごめん・・・」

タッタッタ・・・

・・・なんで、なんでだ、何でこんなことを

―西暦2027年

突然宇宙から月使団と名乗る軍隊が攻めてきた

月使団は、アメリカのニューヨークを制圧し、

それからわずか2ヶ月で世界の4分の3を制圧

当然日本にも軍が攻めてきてわずか四日で東日本を

制圧。月使団が日本を制圧するのもはや時間の問題だった・・・

「何でこんなことになったんだあ、ハア」
ここにいる少年

高坂 星

彼がこの戦乱の歴史に名を刻む英雄になるとは。
彼自身も知らなかった・・・

プロローグ(後書き)

お楽しみに！

1話 赤い髪の男

何でこんなことに・・・

僕は、僕らが何をしたって言うんだ。

そこは、倉庫のような場所だった。

「居たぞ！こつちだ！」

「え、うわあ」

月使団に見つかってしまった！！

逃げなきゃ

「くそ、死ねえ」

ダダダダ

「うわあ」

(こつちだ)

「え、だれ？」

(早く！！)

「待て！！」

(こつち)

.....

「はあ、逃げ切った」

「よう」

そいつは、ボサボサな赤い髪のおっさんだった。不精ヒゲを生やしていて作業着のような服を着ていた。

「アンタは？」

「おいおい、命の恩人にあんたはないだろあんたは。まあいいや。俺は、いややめておこう」

「何でだ？まあいいや。何で俺を助けてくれたんだ？」

「人を助けるのに理由があるか？」

「まあ良い、ありがとう」

そういつて俺は立ちあがった

「おい、どこ行くんだ？」

「月使団の基地に行つてくる」

「一人でか？」

「そうだ！」

「ハツハツハツハツハツハ」

男は笑い出した。ムカつくヤツだ。

「なぜ笑う！」

「だって、一人で月使団の基地に行つてなんになる。そういつのは馬鹿がすることだ。それともお前馬鹿なのか？せつかく助かった命を無駄にするなんて」

「家族の敵を討ちたい。父も母も月使団に殺された。友達も何人も殺された。そして兄とも生き別れた！！」

すると男は急に真剣な顔になり、

「ならお前は力がほしいか？」

「え……」

「力が欲しいというなら力を与える。」

「どういつことだ？」

「ついで来い」

そういつて男は歩き出した。どこに行く気だ？

………30分後………

「いつまで歩くんだ？」

男は返事をしない

「おい無視するな！」

すると男は立ち止まり、

「ここだ」

「やつとか。それで、なんなんだ？力つて？」

「入れ」

「ここは……」

目の前に工場のような広い建物があった。僕は言われるままにその工場のようなところに入っていた。

「なんだ、これは……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8957d/>

7人反乱軍戦記

2010年11月22日22時34分発行